

八潮市地域公共交通計画（案） 概要版

－まちのコミュニティをつなぐ公共交通網の未来－

1 計画策定の背景と目的

本市は、平成 17 年度に市内で初めての鉄道駅であるつくばエクスプレス八潮駅が開業し、それを契機に、駅を中心とした開発が進み、人口が増加する一方で、北部地域では市街化調整区域が多く、開発が制限され、人口も減少しています。

市内の公共交通は、八潮駅と草加駅などの近隣市区の鉄道駅を中心とした交通ネットワークが形成されているものの、一部地域において交通空白もしくは交通不便な状況が生じています。

本計画では、このような状況を踏まえつつ、公共交通を取り巻く社会情勢の変化や令和 3 年 4 月の「ゼロカーボンシティ」宣言による持続可能な脱炭素社会にも対応し、更には世界的な取組である S D G s（持続可能な開発目標）達成に貢献できる、誰もが利用しやすい公共交通網の構築を目的としています。

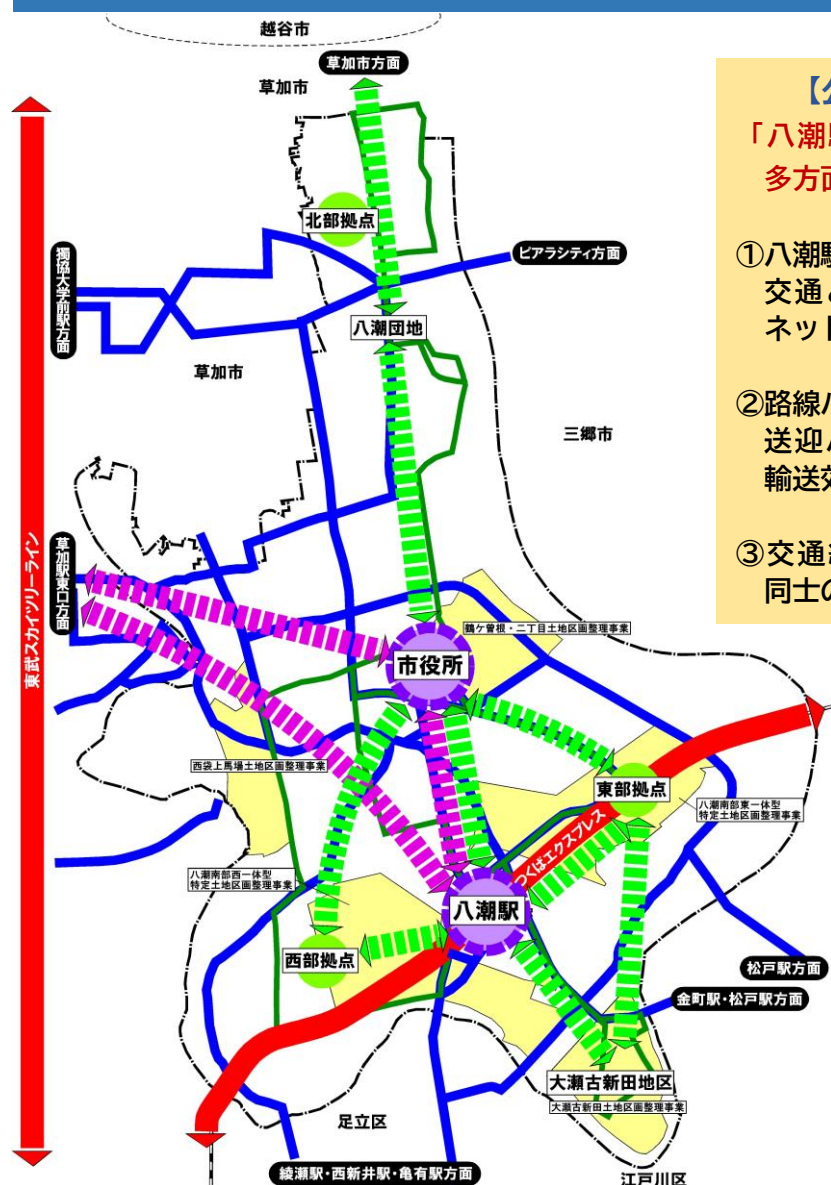
計画区域

八潮市全域。ただし、日常的な交通行動は市域を跨っているため、周辺市区も考慮する。

計画期間

令和 3 年度から令和 7 年度まで（5 年間）

2 目指すべき公共交通の方向性



【公共交通再編の基本的な考え方】

「八潮駅～八潮市役所～草加駅を基軸とした多方面に行きやすいネットワーク」の構築

- ①八潮駅と八潮市役所、草加駅を基軸に、他公共交通と連携し、効率的で効果的な公共交通ネットワークの構築
- ②路線バスと八潮市コミュニティバス、民間企業送迎バス等とが有効活用できる組合せ及び輸送効率の向上の実現
- ③交通結節点の機能強化による公共交通機関同士の相互連携の実現

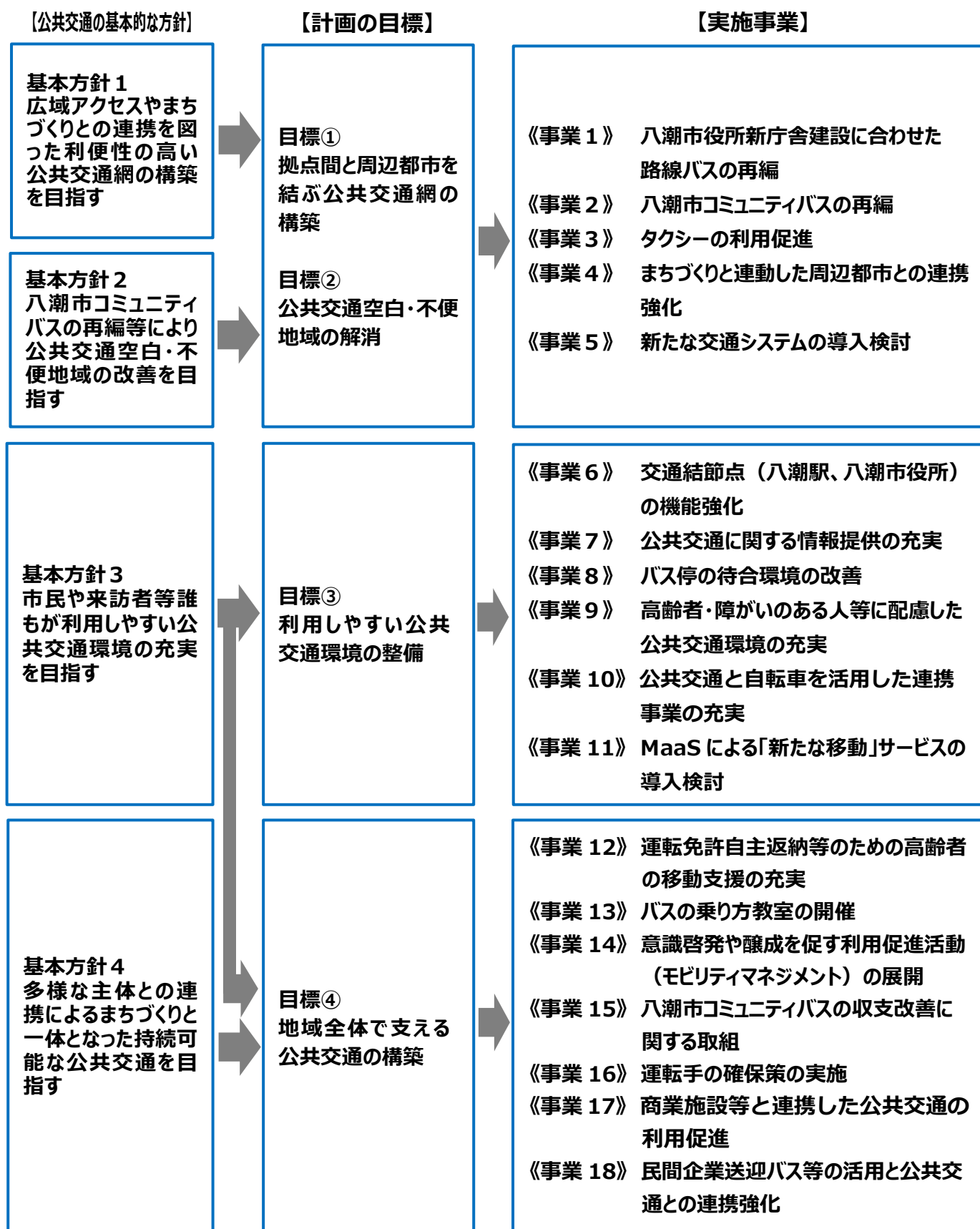
凡 例

現状		鉄道
		路線バス
		コミュニティバス
構想		基幹公共交通
		地域内公共交通
		交通結節点

※高速バス除く

【公共交通の基本理念】

まちのコミュニティをつなぐ利用しやすい公共交通網の構築



3 計画の目標及び実施事業

【事業1】八潮市役所新庁舎建設に合わせた路線バスの再編（実施時期：計画期間中に検討・協議）

八潮市役所新庁舎の敷地内に整備するバスロータリーを交通結節点とし、八潮駅と八潮市役所間及び周辺都市間のアクセス強化に資する利便性の高い路線の再編について、バス事業者と協議し、実施します。

【事業2】八潮市コミュニティバスの再編（実施時期：令和5年度以降）→P6へ

八潮市コミュニティバスについては、路線バスの再編を考慮しつつ、市民ニーズや利用実績等を踏まえ、利便性向上と効率的な運行となるよう再編を検討・実施します。

【評価指標及び目標値】

評価指標	現状値	目標値
コミュニティバス利用者満足度	48.1%	55.0%
コミュニティバス年間利用者数	108,475人	95,208人
コミュニティバス行政負担額	2,420万円	2,420万円以下
コミュニティバス収支率	45.7%	44.0%



※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したことから目標値が現状値よりも低い設定となっています。

【事業3】タクシーの利用促進（実施時期：令和3年度以降）

タクシー事業者は、サービスの活性化や事業経営の効率化などに取組むとともに、市では新庁舎敷地内にタクシープールを整備し、ホームページなどでタクシーサービスの周知や情報提供を行います。

【評価指標及び目標値】

評価指標	現状値	目標値
タクシー利用者満足度	52.6%	60.0%

【事業4】まちづくりと連動した周辺都市との連携強化（実施時期：計画期間中に検討・協議）

土地区画整理事業や北部拠点まちづくり推進地区などのまちづくりと連携を図りつつ、需要面や運行の効率性等を見極めながら、周辺都市との連携に資するバス路線について検討します。

【事業5】新たな交通システムの導入検討（実施時期：計画期間中に検討・協議）

新しい技術革新等の動向を踏まえつつ、既存公共交通システムを補完する新たな交通システム（自動運転バス、デマンド交通など）や短距離移動を支援する新たな交通手段の導入を検討します。

【事業6】交通結節点（八潮駅、八潮市役所）の機能強化（実施時期：令和5年度以降）

交通結節点（八潮駅、市役所）において、市民や来訪者に分かりやすい公共交通に関する情報提供を行います。

【評価指標及び目標値】

評価指標	目標内容	
交通結節点での機能強化の整備箇所数	八潮駅の総合案内板等をデジタルサイネージに変更 新庁舎敷地内のバスロータリーにデジタルサイネージを設置	
評価指標	現状値	目標値
乗り継ぎのしやすさの市民の満足度	38.1%	45.0%

【事業 7】公共交通に関する情報提供の充実（実施時期：令和 4 年度以降）

公共交通の情報を掲載した「公共交通マップ」を作成・配布します。また、鉄道の車内の混雑状況等の情報を市ホームページ等で周知するとともに、国で進めている「G T F S-J P」の活用の可能性を検討します。

【評価指標及び目標値】

評価指標	現状値	目標値
公共交通マップ配布数	—	45,000 部

【事業 8】バス停の待合環境の改善（実施時期：令和 3 年度以降）

バス停の待合環境について、医療機関や商業施設など利用が多いバス停を中心に、計画的に整備を進めます。また、公共施設や民間施設を活用した拠点スポットの整備を進めます。

【評価指標及び目標値】

評価指標	現状値	目標値
拠点スポットの整備箇所数	—	5 箇所以上

【事業 9】高齢者・障がいのある人等に配慮した公共交通環境の充実（実施時期：令和 3 年度以降）

乗り降りが容易なノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーなど、利用しやすい車両の導入を促進します。また、ヘルプカード等の周知により心のバリアフリー化を推進します。

【事業 10】公共交通と自転車を活用した連携事業の充実（実施時期：令和 3 年度中）

サイクル&バスライドの促進に向けて、バス停付近の自転車駐車場等の乗継ぎ環境の整備を検討します。また、公共交通を補完する移動手段となるコミュニティサイクルの導入を促進します。

○公共施設（市役所、公民館、体育館等）や駅にコミュニティサイクルのポートを整備

【評価指標及び目標値】

評価指標	現状値	目標値
自転車活用拠点整備箇所数	4 箇所	8 箇所



▲中馬場バス停・自転車駐車場

【事業 11】MaaS による「新たな移動」サービスの導入検討（実施時期：計画期間中に検討・協議）

既存公共交通機関に加え、コミュニティサイクルなど多様な移動手段をつなぐため、交通結節点の機能強化や周辺市区と連携した M a a S の導入について検討を進めます。

【事業 12】運転免許自主返納等のための高齢者の移動支援の充実（実施時期：令和 6 年度以降）

自動車運転免許自主返納者への支援措置について、市ホームページや広報紙、「公共交通マップ」などの情報媒体を活用し、P R 活動を行うとともに、市独自の自動車運転免許自主返納者への支援策について検討します。

【評価指標及び目標値】

評価指標	現状値	目標値
65 歳以上運転免許返納者数	325 人	516 人

【事業 13】 バスの乗り方教室の開催 （実施時期：令和4年度以降）

高齢者や将来的な利用者となる小学生等を対象に、バスの乗り方教室や公共交通の経路検索方法等の周知を行い、市民意識の醸成と利用促進を図ります。

【評価指標及び目標値】

	現状値	目標値
乗り方教室開催数	—	4回

【事業 14】 意識啓発や醸成を促す利用促進活動の展開 （実施時期：令和3年度以降）

自家用車から公共交通利用への転換を促すため、広報紙などの多様な情報媒体による周知や利用促進活動などのモビリティマネジメント活動を展開します。また、鉄道、バス及びタクシー事業者で実施中の様々な感染症対策の取組を周知します。

【評価指標及び目標値】

評価指標	現状値	目標値
広報紙等による啓発回数	—	5回



【事業 15】 八潮市コミュニティバスの収支改善に関する取組 （実施時期：計画期間中に検討・協議）

八潮市コミュニティバスの運賃収入以外で財源を確保するため、企業広告（車体・車内等）などの導入について、可能性を検討します。

【事業 16】 運転手の確保策の実施 （実施時期：令和5年度以降）

社会情勢や需給バランスを見極めた上で、多様な主体が連携した「合同就職面接・企業説明会」や、バス・タクシー運転手に特化した就職イベントなど、運転手の確保策を検討し、実施します。

【評価指標及び目標値】

評価指標	現状値	目標値
運転手確保策の実施回数	—	3回



【事業 17】 商業施設等と連携した公共交通の利用促進 （実施時期：令和5年度以降）

公共交通を利用した「おでかけモデルプラン」を作成し、市ホームページなどで周知を図り、まちの賑わいの創出や需要の掘り起こしを図ります。

【事業 18】 民間企業送迎バス等の活用と公共交通との連携強化 （実施時期：計画期間中に検討・協議）

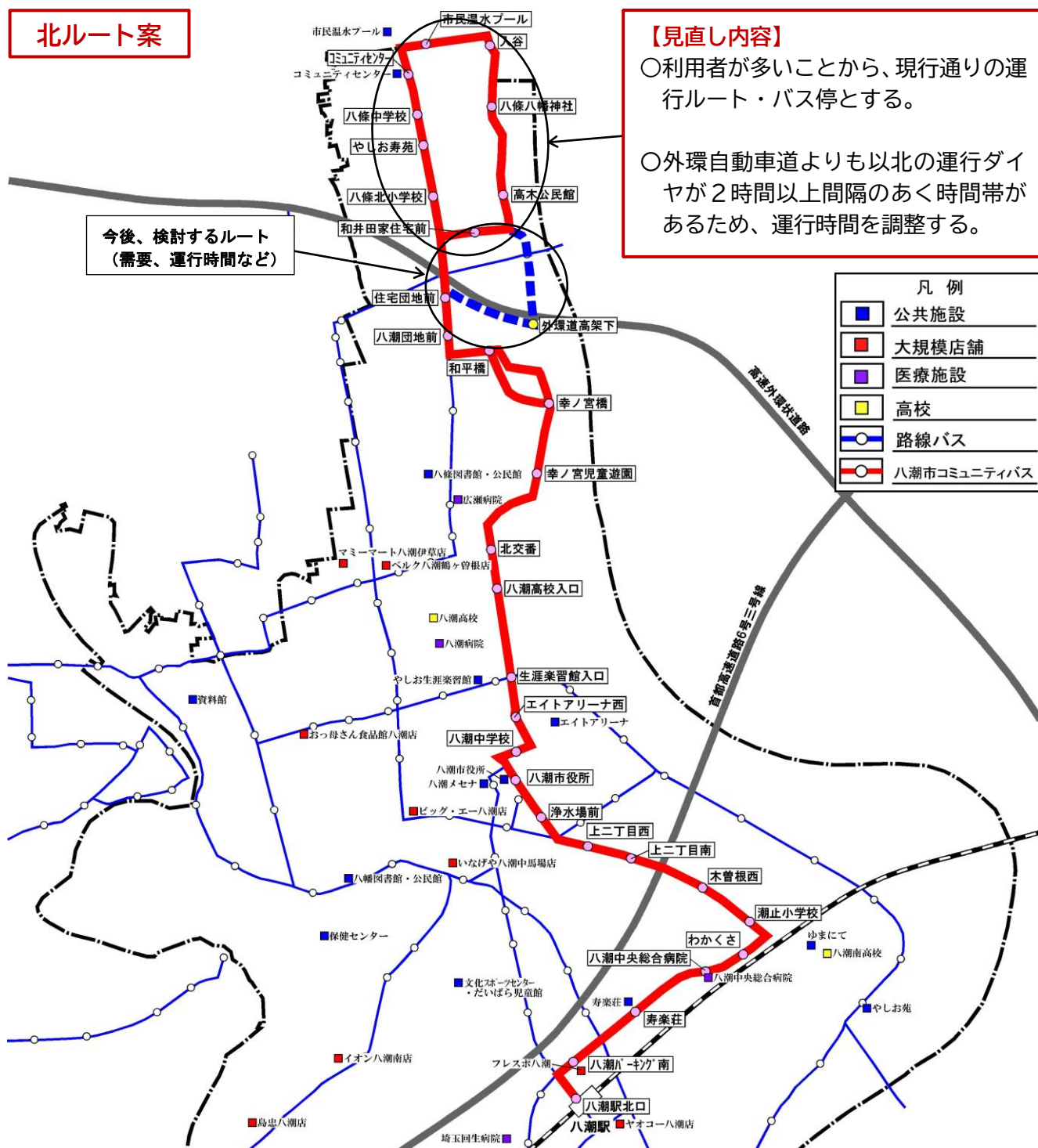
公共交通を補完するため、民間企業送迎バスなどの様々な移動手段の活用と公共交通との連携強化について、企業などと協議・調整を図りながら検討します。

【八潮市コミュニティバスの再編計画（事業2）】

サービス水準

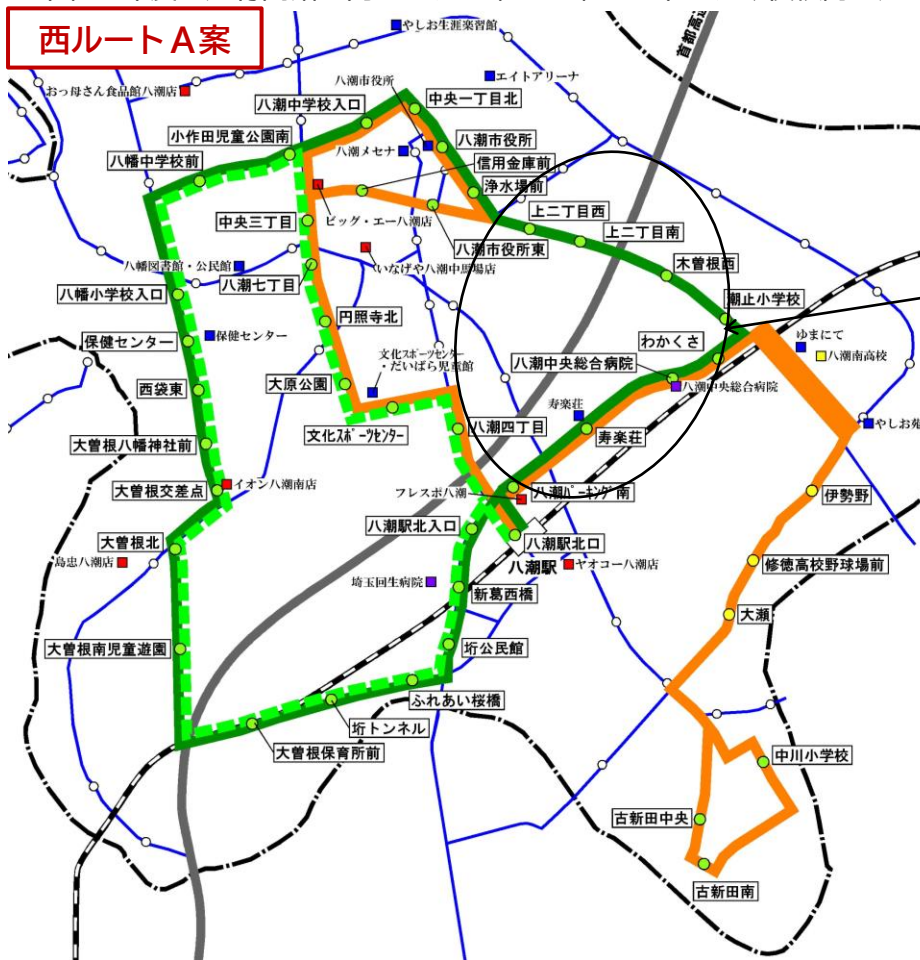
運行日	○毎日運行
運行時間帯 ・運行便数	○平日・休日別の利用実績や事業収支（補助額）などを考慮した運行時間帯を検討 ○運行便数は、運行ルート（1運行当り所要時間）や運行車両数等を基に検討
運行ダイヤ	○北ルートの温水プール循環（外環以北）は、日中時間帯で間隔を縮めた運行ダイヤを検討 ○西ルートの大瀬古新田地区は、八潮総合中央病院の午前中の診療時間に間に合うよう現行より早い時間での運行ダイヤを検討
運賃	○現行通り対キロ制（現金：180～270円）
運行車両	○現行通りバス車両3台

北ルート案



令和5年度の運行開始に向けて、A案かB案を基本に、今後検討を進めていく。

西ルートA案



【見直し内容】

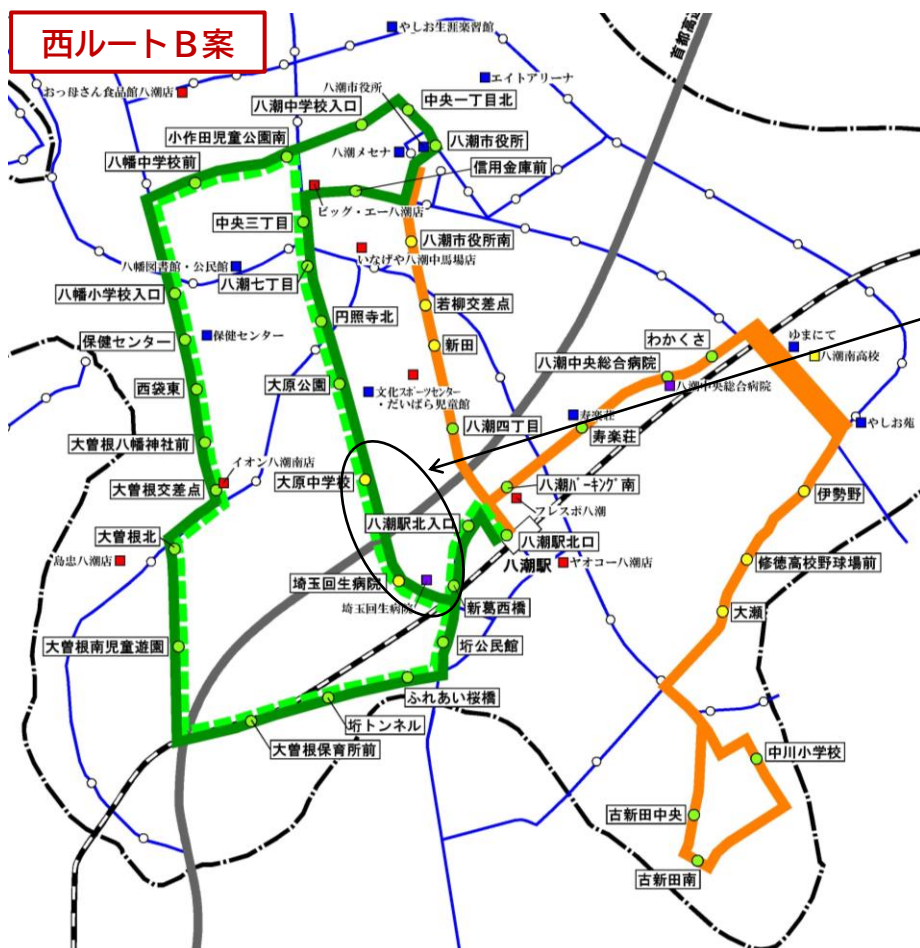
○大瀬古新田地区から八潮中央病院への接続を強化するため、「大瀬古新田地区～八潮中央総合病院～八潮駅～市役所」を新設する。（オレンジルート）

○八潮駅北口エリアで東西の市街地の連携を強化するため「八潮駅～大曽根方面～市役所～木曽根方面～八潮駅」を新設する。（グリーンルート）

○通勤時間帯は、八潮駅への速達性を高める。（点線ルート）

凡 例	
	公共施設
	大規模店舗
	医療施設
	高校
	路線バス
	八潮市コミュニティバス

西ルートB案



【見直し内容】

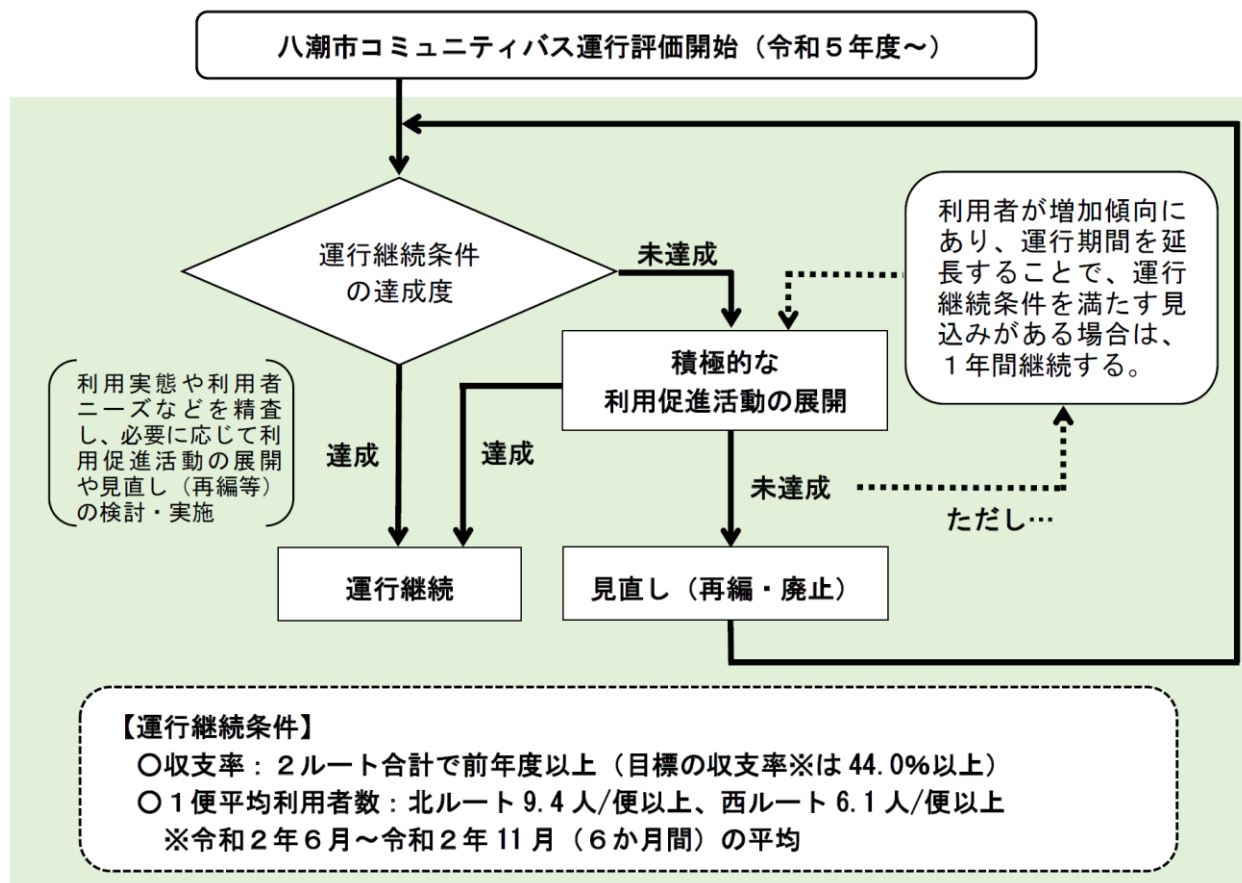
○大瀬古新田地区から八潮中央病院と八潮駅から市役所への接続を強化するため「大瀬古新田地区～八潮中央病院～八潮駅～市役所」を新設する。（オレンジルート）

○新規需要獲得のため、埼玉回生病院を經由する「八潮駅～大曽根方面～市役所～大原公園～埼玉回生病院～八潮駅」に変更する。（グリーンルート）

○通勤時間帯は、八潮駅への速達性を高める。（点線ルート）

凡 例	
	公共施設
	大規模店舗
	医療施設
	高校
	路線バス
	八潮市コミュニティバス

運行評価（継続・見直し（再編・廃止））の手順

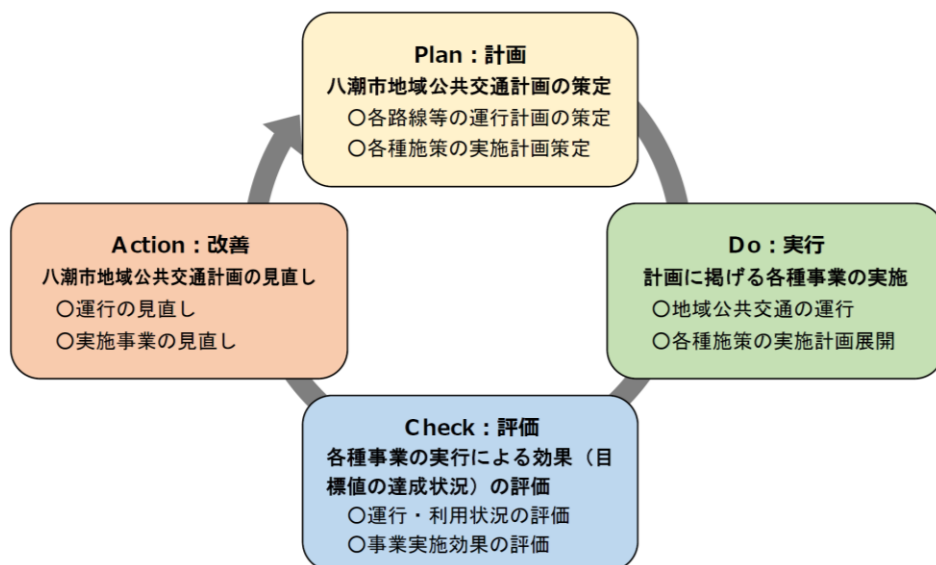


4 計画の達成状況の評価

「八潮市地域公共交通計画」の推進にあたり、目標の達成状況や利用状況などを評価・検証し、必要に応じて見直しを行い、改善する「PDCAサイクル」により進行管理を実施します。

なお、社会情勢を踏まえ必要に応じて、柔軟に実施事業や目標値など計画の見直し等を検討します。

■各PDCAサイクルの概要



埼玉県八潮市生活安全部交通防犯課
TEL : 048-996-2111（内線 288/397）

〒340-8588 八潮市中央一丁目2-1
e-mail : kotsubohan@city.yashio.lg.jp